

Acronis Backup & Recovery 11 Virtual Edition

エージェント for ESX(i)(Windows) インストール手順書

目次

1. 管理サーバのインストール	3
1.1 インストールウィザード	
2. エージェント for ESX(i) (Windows) のインストール	6
2.1 インストールウィザード	6
3. 仮想コンピュータをバックアップする計画の作成	
3.1. ストレージへの iSCSI 接続	
3.2. バックアップ計画の作成	
4. エージェントインストール後の保護対象指定	
4.1. 保護対象指定方法	
5. 仮想コンピュータの復元	
5.1. 仮想コンピュータの復元手順	



まえがき

2011年11月1日 ver1.0 [初版]

運用中の ESX(i)ホストの負荷が高く、仮想アプライアンスの実行が望ましくない場合、ESX インフラストラクチャ外部 にある物理コンピュータへのエージェント for ESX(i) (Windows)のインストールを検討してください。

使用している ESX(i)で SAN に接続されたストレージが使用されている場合は、このエージェントを、同じ SAN に接続されたコンピュータにインストールします。エージェントは、ESX(i)ホストおよび LAN を経由せずにストレージから仮 想コンピュータを直接バックアップします。この機能は、LAN フリーバックアップと呼ばれます。

下の図は、LAN ベースのバックアップと LAN フリーバックアップを示しています。ファイバ チャネル(FC)または iSCSI ストレージ エリア ネットワークがある場合は、仮想コンピュータに LAN フリーアクセスすることができます。 バックアップされたデータが LAN 経由で転送されないようにするには、バックアップをエージェントのコンピュータの ローカルディスク、または SAN に接続されたストレージに保存します。



尚、このドキュメントは Acronis Backup & Recovery 11 Virtual Edition による、エージェント for ESX(i) (Windows) をインストールするための手順書となります。

エージェント for ESX(i) (Windows) はライセンスサーバが必須となりますので、(別にインストールしたライセンス サーバの使用する場合を除き)管理サーバーのインストール後にエージェント for ESX(i) (Windows) をインストー ルします。



1. 管理サーバのインストール

<u>1.1 インストールウィザード</u>

インストーラのアイコンをダブルクリックします。

الله المراجع م مراجع المراجع ا		
Салға		
1BR11A_17318.ja.		
License Key		
\$7.8-F 🛃 🛃 📜	● A 般 🍽 🏈 🔮 💽 coes 🖉 🏱 🔁 15 2011	5:38 /09/28 💻

[Acronis Backup & Recovery 11 のインストール]を選択します。





ライセンス契約を確認し、[この契約書の条件に同意します]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

🄀 Acr	onis Backup & Recovery 11 📃 🗖 🗙
A	cronis Backup & Recovery 11 使用許諾契約をお読みください
_	
	Acronis
	取引条件
A.	確認
в.	エントユーザーライセンス契約
c.	オンラインバックアップサービス契約
D.	ソフトウェアライセンスおよびオンラインバックアッブサービスに適用可能な一般条件
E.	プライバシーボリシー
本美	マ約は、Acronis ソフトウェア、Acronis オンラインバックアップソフトウェアおよび
Acr	onis オンラインバックアップサービスの利用について規定するものです。
l I	の契約書の条件に同意します
	(戻る) 次へ> キャンセル

コンピュータの使用要件に合わせて、インストールするコンポーネントを選択します。

今回は管理サーバ及びライセンスサーバーを構築しますので、上から2番目の

[物理コンピュータと仮想コンピュータのバックアップを集中的に監視および構成する]

にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

※集中管理の保存場所を構築する場合、上から3番目の

[他のコンピュータのバックアップをこのコンピュータに保存する]にもチェックを入れます。

🥪 Acronis Backup & Recovery 11 📃 🔀
このコンピュータをどのように使用しますか?
コンピュータを以下のように使用する:
□ このコンピュータのデータをパックアップする Acronis 管理コンソール、およびセットアップで検出されるディスク、ファイル、アプリケーションの Acronis エージェントをインスト ールします。
✓ 物理コンピュータと仮想コンピュータのパックアップを集中的に監視および構成する Acronis 管理コンソールと Acronis Backup & Recovery 11 管理サーバーをこのコンピュータにインストールします。
□ 他のコンピュータのバックアップをこのコンピュータに保存する Acronis Backup & Recovery 11 ストレージノードをこのコンピューダにインストールします。
□ リモート コンピュータに接続する Acronis 管理コンソールをこのコンピューダにインストールします。
カスタムインストール 「Acronis コンボーネントを手動で選択し、インストール処理をカスタマイズする
<戻る (次へ) キャンセル



ライセンスキーをインポートし、[次へ]をクリックします。

🥪 Acronis Backup & Recovery 11	_ 🗆 X
Acronis ライセンス サーバーに追加するプロダクト キーを指定できます。	
ファイルからキーのインボート	
I Acronis Backup & Recovery 10 からアップグレードする場合、Backup & Recovery 10 のプロダクトキーとAcronis B Recovery 11 のプロダクトキーをライセンスサーバーに注意加してください。	× P actup &
- 「「「「」」(「「」」)(「「」」)(「」)(「」)(「」)(「」)(「」)(「	ャンセル

インストールされるコンポーネントが表示されますので、[インストール]をクリックします。



インストールが完了します。[閉じる]をクリックします。





2. エージェント for ESX(i) (Windows) のインストール

エージェントのインストールは管理サーバからリモートインストールする方法と、対象となる Windows (ESX のバックアップを実行するコンピュータ)上でローカルインストールする方法があります。 今回は後者の対象となる Windows 上で行うローカルインストールの手順をご紹介します。

<u>2.1 インストールウィザード</u>

インストーラを起動し、[Acronis Backup & Recovery11 のインストール]をクリックします。

	¢	アップデート はありません 製品の現在のパージョンは最新版です。
	S	Acronis Backup & Recovery 11 のインストール 製品の完全版をインストールします。
	1	インストールファイルの取り出し 指定した場所に個別のインストールファイルとして保存するコンボーネントを選択し ます。
Acronis®	?	インストールのヘルプの表示
Backup & Recovery	v [™] 11	
WWW.ACRONIS.CO.JP		
v.11.0.17318		

ライセンス契約を確認し、[この契約書の条件に同意します]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

🏏 Acr	onis Backup & Recovery 11	_ 🗆 >
A	cronis Backup & Recovery 11 使用許諾契約をお読みください	
	Acronis	
	取引条件	
A.	確認	
в.	エントユーサーライセンス契約	
c.	オンラインバックアップサービス契約	
D.	ソフトウェアライセンスおよびオンラインバックアッブサービスに適用可能な一般	条件
E.	ブライバシーボリシー	
本教	契約は、Acronis ソフトウェア、Acronis オンラインバックアップソフトウェアおよび	
Acr	onis オンラインバックアップサービスの利用について規定するものです。	
		<u> </u>
■ C	W关约者W架HtCl可息Ca 9	
		100
		2010



コンピュータの使用要件に合わせて、インストールするコンポーネントを選択します。 今回はエージェント for ESX(i) (Windows) のみインストールを行いますので、 [Acronis コンポーネントを手動で選択し、インストール処理をカスタマイズする] にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



エージェント for VMWare vSphere ESX(i) (Windows)、管理コンソールを選択し、[次へ]をクリックします。

インストールするコンボーネントを選択する	-)⊠	
 すべてのコンポーネントを選択する ▼ エージェント コア ● Windows 用工 -ジェント ● T -ジェント for Hyper-V ● T -ジェント for VMware vSphere ESX(I)(Wind) ▼ -ジェント for VMware vSphere ESX(I)(Wind) ● 管理サーバー ● 常理サーバー ○ ストレージ ノード ○ で他のコンポーネント ● ア -シーント ● ア -シーント ● ア -シーント ● ア -シーント 	 個別のライセンスが必要 Ŷ 重複除外 個別のライセンスが必要です。(取得) 非重視したれた格納域にコンピュータをパックアップすることができます。 Ŷ Universal Restore @ Universal Restore @ [Win/S-T (2),2)が必要です。(取得) 異なる)、トップロアへの頂元機能を備えたプータブル メディアを /ド応することができます。 	
□ コマンドライン ツール トレイ モニタ □ アンドライン ツール トレイ モニタ ■ PXE サーパー ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	必要な容量: 125.61 M 必要な容量の合計: 321.49 M ペーネントに アクセスして 管理する(こは、Acronis Backup &	IB IB
	<戻る 次へ> キャンセル	



[プロダクト キーをライセンス サーバーから取得する]を選択します。



ライセンスサーバーを指定し、[次へ]をクリックします。



コンポーネントのインストール先を指定し、[次へ]をクリックします。





サービスアカウントを指定し、[次へ]をクリックします。

Acronis サービスのログイン情報を指定する	
Acronis Backup & Recovery 11 エージェント コア コンボーネントはサービスとして実行されます。コンボーネントをインストー川 際に、コンボーネントのサービスを実行するアカウントを指定してください。	143
Acronis Managed Machine Service アカウント:	
◎ 新しいアカウントを作成する	
○ 既存のアカウントを使用する [選択]をクリックして、既存のアカウントを参照します。 選択	
<戻る (次へ) キャン	en l

[今すぐ登録する]を選択し、[次へ]をクリックします。

※管理サーバーへの登録はインストール完了後に管理コンソールから登録することも可能です。

Macronis Backup & Recovery 11	
インストール中のエージェントまたはストレージ ノード(あるいはその両方)を Ar Recovery 11 管理サーバーに登録するかどうかを選択する	cronis Backup &
○ 後からコンボーネントを登録する	
◎ 今すぐ登録する	
管理サーバー(IP/名前): 192.168.0.81	参照
ユーザー名: administrator	選択
パスワード: •••••	
□説明 エージェントを管理サーバーに登録すると、管理サーバーの管理者はコンピュータを集中管理できる コンピュータは、登録済みのコンピュータと呼ばれます。 インストール時にコンピュータを登録しない場合は、後で登録することができます。	5ようになります。このような
	(1) * 75/2/1



エージェントがインストールされたコンピュータに対し、リモート接続を行えるユーザーアカウントを追加します。 確認後、[次へ]をクリックします。

🛇 Acronis Backup & Recovery 11	_ 🗆 🗙
Acronis Remote Users セキュリティ グループに追加するユーザー アカウントを指定 のグループのメンバは、このコンピュータにリモートから接続できます。	してください。こ
Administrator	<u> 肖</u> 耶余 すべて育 即余
<戻る 次∧>	キャンセル

保護対象となる vCenter または ESX(i) サーバーを指定し、[次へ]をクリックします。 ※インストール完了後に管理コンソールから指定することも可能です。

📎 Acronis Backup &	Recovery 11	_ 🗆 🗙
vCenter の名前	/IP アドレス、または ESX(i) サーバーとそのアクセス用ログイン情報の指定	
○ 後でサーバーを指定	E#6	
◎ 次のサーバーのコン	ピュータをバックアップする:	
IP/名前:	192.168.0.113	
ユーザー名:	administrator	
パスワード:	•••••	
エージェント for VMwa 理する仮想コンピュー	are vSphere ESX())(Windows)は vCenter または ESX()) サーバーに接続して、それらのサーバ タのバッグアップを実行します。	ーが管
	<戻る (次へ>) キャ	シセル



CEP プログラムに参加について選択し、[次へ]をクリックします。



実行する処理の概要を確認し、[インストール]をクリックします。



インストールの完了後、[閉じる]をクリックします。

SAcronis Backup & Recovery 11	<u>_ ×</u>
インストールが完了しました	
- Acronis Backup & Recovery 11コンポーネントは正常にインストールされました。	
✓ Acronis Backup & Recovery 11 管理コンソールの実行	
< 定 る 完 了	**>/7/L
×750 JL1	



3. 仮想コンピュータをバックアップする計画の作成

バックアップ計画は管理サーバ上またはエージェント for ESX(i) (Windows)がインストールされたコンピュータ上 どちらでも作成可能です。

また、保護対象となる仮想環境が SAN ストレージを使用している場合、エージェントインストール済みのコン ピュータから同じ SAN ストレージに直接 FC または iSCSI 接続することにより、LAN を経由せずにストレージから 仮想コンピュータを直接バックアップすることができます。この機能は、LAN フリーバックアップと呼ばれます。

今回はエージェントインストール済みのコンピュータからストレージに対し、直接 iSCSI 接続を行い、LAN フリー バックアップを実行する手順をご紹介します。

※ストレージに対し FC または iSCSI 接続を行わない場合、またはストレージから直接仮想コンピュータをバック アップできない場合、自動的に LAN 経由でバックアップが実行されます。

<u>3.1. ストレージへの iSCSI 接続</u>

iSCSI イニシエーターを起動し、ESX が使用するストレージに接続します。

今回はコンピュータに2つのネットワークカードを挿入し、1つをLAN に接続、残り1つをiSCSI 接続用途にして います。iSCSI 接続されたストレージは、Windows のディスクの管理から[ディスク 2][ディスク 3]として認識され ています。







3.2. バックアップ計画の作成

画面上のショートカット[ローカルコンピュータの管理]をクリックします。

الم - 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1-	
Com	
Acronis Backup & Recovery 11	
レーカル ユンピュータ の管理	
1729-t 🍇 🕢 🚆	● A般 ● ● Cores ● P 間 化 2011/08/28 ■

バックアップ計画の作成を選択します。





[バックアップの対象]-[バックアップする項目]をクリックします。

📎 Acronis Backup & Recovery 11 – ajad	mineDEV としてこのコンピュータに接続(ローカル接続)
🚱 ◯マ 💿 接続▼ 🚿 アクション▼	※ツール ====================================
 ● ● 接続・ ※ アクション・ ナビゲーション ※ ■ BRI11AMS.dev.com ● バックアップの計画およびタス ● 価格域 ● ディスクの管理 ● マウントされたイメージ ● アラート ■ ログ >>= ローカルコンピュータ (ABR11AMS 	 ※ ツール・ ■ ナビダーション・ ◎ オブション・ ◎ ヘルブ・ ② Acronis ◎ バックアップ計画の作成 留いしたコンピュータのデータを保護するパックアップ計画を作成します。 バックアップの対象 バックアップの対象 バックアップの対象 バックアップの内容存先 ロケーション。 必須 ◎ アクセスログイン情報 除外の表示 バックアップの保存先 ロケーション。 必須 ◎ バックアップ方法 バックアップ方法 バックアップスキー シンブル ◆ バックアップスキー シンブル ◆ バックアップスキー シンブル ◆ バックアップを無期間に保存する ◆ ◎ バックアップの建筑 2 番目のロケーション、ペリファイ, 仮型コンピュータへの変換の表示 計画のパラメータ
	計画名: バックアップ 2011/09/28 16:15:10 パックアップオプ テフォルト ション
	<u> </u>
	 現在のアクティビティ

バックアップするデータとして、仮想コンピュータを選択します。

🖌 Acronis Back	cup & Recovery 11 - ajadmin@DEV としてこのコンピュ	レータに接続(ローカル接続)	
G)- 0	●接続▼ 🚔 アクション▼ 🞇 ツール▼ 🔤 ナビゲ	ーション・ 🕲 オプション・ 💿 ヘルプ・	9 Acronis 🤇
ナビゲーショ 編別スト 完全 編別スト 完全 ▲ ABR11AW ○ ハック ● ● 格納域 ペ テーブ ペ ディス ペ マウン ● アラー ■ ロク ショートカット ■ ローカルコ:	 	さい 「ディスク」 権類 「ディスク1 「ディスク2	
	のハレブ	・ OK キャンセ	
	al@;	ハックアップ 2011/09/28 16:15:10	() (+++>>,+7))



バックアップ対象となる仮想コンピュータを選択し、[OK]をクリックします。

Macronis Backu	up & Recovery 11 - ajadmin@DEV としてこのコ	レビュータに接続(ローカル接続)	_ 🗆 ×
G)- 0	接続▼ ※ アクション▼ ※ ツール▼ ■ プ	+ビゲーション▼ @ オプション▼ @ ヘルプ▼	9 Acronis 🔞
ナビゲーショ 前島リスト 完全 ・ 全 ABRIIAM ① バック ト い 格納域 電 テーブ ④ ディス ③ マウン ド アラー 画 ログ ショートカット ■ ローカルコ;	 ×、 ×、 ×、 ×、 ×、 ✓、 ✓ <l< th=""><th>ください すべての仮想コンピュータ ごれほどルトイングループです。仮想コンピュータ用の Acronisエージェントによってバックアップできるすべての仮想コンピュータが含まれています。 コンピュータの歌:10 マ 電 CentOS6 マ 電 CentOS6 マ 電 CentOS6 マ 電 VM-WINI マ 電 VM-RHEL-NFS マ WM-RHEL-NFS マ WM-WIN2K825P1-1 マ WM-WIN2K825P1-1 マ WWIN2K825P1-1 マ WWIN2K825P1 マ WWIN2K825P1 マ WWIN2K825P1 マ WWIN2K825P1 マ 電 WWIN2K825P1</th><th></th></l<>	ください すべての仮想コンピュータ ごれほどルトイングループです。仮想コンピュータ用の Acronisエージェントによってバックアップできるすべての仮想コンピュータが含まれています。 コンピュータの歌:10 マ 電 CentOS6 マ 電 CentOS6 マ 電 CentOS6 マ 電 VM-WINI マ 電 VM-RHEL-NFS マ WM-RHEL-NFS マ WM-WIN2K825P1-1 マ WM-WIN2K825P1-1 マ WWIN2K825P1-1 マ WWIN2K825P1 マ WWIN2K825P1 マ WWIN2K825P1 マ WWIN2K825P1 マ 電 WWIN2K825P1	
	パス:仮想コンピュータ/すべての仮想コンピュ ② ヘルプ	1-タ OK キャンセル	÷
		OK	キャンセル
		Q 羽	在のアクティビティ

[バックアップの保存先]-[ロケーション...]をクリックし、保存先を指定します。





[バックアップ方法]-[バックアップスキーム]を選択し、バックアップのスケジュールを作成します。

📎 Acronis Backup & Recovery 11 - ajadm	in@DEV としてこのコンピュー	タに接続(ローカル接続)	_ 🗆 🗡
🚱 🕗 マロション▼	😸 ツールマ 🔤 ナビゲー	ション・ 🕲 オブション・ 🔘 ヘルブ・	9 Acronis 🔞
ナビゲーション 《 簡易リスト 完全リスト ④ ABRIIAMS.dev.com 〇 バックアップの計画およびタス	(ックアップ (ックアップの	計画の作成 データを保護するバックアップ計画を作成します ^{保存先}	•
▶ <mark>▶</mark> 格納域 ■ テープ管理 ● ディスタの管理	ロケーション。	名前: [Virtualization Server Type]_[Machine Name] パス: D:\Backup\ (ローカルフォルダ)	
 マウントされたイメージ アラート 	パックアップ方法	±	
■ ログ ショートカット	バックアップスキー ム:	カスタム ▼ データをバックアップする時期と間隔、およびバックアッ 定してください。	プを保存する期間を指
₩ ローカルコンピュータ [ABRIIAMS.	完全バックアップ:	スケジュールの追加 変更制除1週間に1回、日曜日の0:00:00にタスクタ 条件の追加 条件が指定されていません。	を開始する。
	増 分 バックアップ:	スケジュールの適加。 変更。 削除1週間に1回、月曜日,火曜日,水曜日,水準 タスクを開始する。 条件の追加。 条件の追加。 条件が指定されていません。	曜日, 金曜日の 0:00:00 に
	差分バックアップ	スケジュールの追加 スケジュールが指定されていません。_	
_	アーカイブのクリー ンアップ:	クリーンアップしない ▼	
		0	K キャンセル
			● 現在のアクティビティ 。

設定内容を確認し、問題がなければ[OK]をクリックします。



作成したバックアップ計画は、[ナビゲーションツリー]-[バックアップの計画およびタスク]配下に保存されます。 スケジュールに従い自動的にバックアップが実行されますが、[実行]をクリックすることによる手動実行も可能で す。

≫Acronis Backup & Recovery 11 - a	ajadmin@DEV としてこ	のコンピュータに接続([1〜カル接続)		
🚱 🌍 🗣 📵 接続▼ 🔗 アクション	レマ 💥 ツールマ 📓	ナビゲーション▼	😳 オプション🕶		× 🖉 Acronis 💿
 ナビグーション 《 開場リスト 完全リスト ▲BRI1AMS.dev.com ご バックアップの計画およびタス ● 福納域 ● 「本稿域 ● 「ホイスクの管理 会 ディスクの管理 マウントされたイメージ アラート 三 ログ 	バックア このコンピュー ① 新規▼ ▶ 第 名前	ップの計画 タ上に存在するノ 実行状態 「すべて」 … アイドル	国および夕ス (ックアップ計画および 編集 ¥ 開除 6 クロ ステータス 1 マ [すべて] ▼ OK	ク ドタスクの状態を -> ≥ インボー 前回の売了時刻	確認します。 > オエクスポート ※ 次回の開始時刻 2011/09/29 0:00:00
ショートカット					
📒 ローカル コンピュータ [ABR11AMS.					
			•		
		スク 進行状況	履歴 バックアップの対	象 バックアップ	先設定
	名前:	仮想コンピュータの	のバックアップ計画	次回の開始時刻:	2011/09/29 0:00:00
	場所:	ローカル		所有者:	ajadmin@DEV
	実行状態:			速度:	
	ステータス:	ОК		前回の結果:	-
	種類:	バックアップ計画		スケジュール:	カスタム
	前回の開始時刻:			コメント	
	前回の完了時刻:				
ĺ	- -				◎ 現在のアクティビティ:

※保護対象となる仮想環境が SAN ストレージを使用している場合、エージェントインストール済みのコンピュータ から同じ SAN ストレージに直接 FC または iSCSI 接続することにより、LAN を経由せずにストレージから仮想コ ンピュータを直接バックアップすることができます。LAN フリーバックアップか LAN 経由のバックアップかは自動 的に判断されます。

(下記画面では、iSCSI 経由の LAN フリーバックアップが実行されていることを確認しています。)





4. エージェントインストール後の保護対象指定

<u>4.1. 保護対象指定方法</u>

エージェント for ESX(i) (Windows)のインストール中に保護対象となる vCenter や ESX サーバを指定することが できますが、インストール完了後でも vCenter や ESX サーバーを指定を指定することができます。 [管理コンソール]-[オプション]-[コンピュータオプション]を開き、

エージェント for VMWare ESX(i) (Windows) を選択します。

⊗コンピュータ オプション		×
コンピュータ オプションを確認し、	必要に応じて設定を認	変更してください
◆ Acronis カスタマエクスペリエンスプロ ↓ アラート	エージェント fo	r VMware vSphere ESX(i) (Windows)
 ♪ アラート管理 ♪ 時間ペースのアラート ⑤、イベントトレース ● SNMP 通知 ○ SNMP 通知 	このコンピュータにイン ESX(i) (Windows) を使 することができます。コ の ESX(i) または vCenter マ ESX(i) 仮想コンピュ	ンストールされているエージェント for VMware vSphere 用して、ESX() 仮想コンピュータをバックアップおよび復元 にージェント for ESX() がバックアップする仮想コンピュータ ・サーバーを指定します。 ータのバックアップと復元を可能にする
Windows オペントログ エージェント for VMware vSphere ESX(i)	IP/名前:	192.168.0.113
オンラインバックアップのプロキシ	ユーザー名:	administrator
 クリーンアッフログのルール コンピュータの管理 電子メール設定 	パスワード:	接続の確認
🖙 アラートの通知		
< Þ		
(?) へレプ		OK キャンセル

保護対象となる vCenter や ESX サーバーの IP/名前、ユーザー名、パスワードを入力後、 [接続の確認]を クリックします。問題がなければ[OK]をクリックし、画面を閉じます。





5. 仮想コンピュータの復元

5.1. 仮想コンピュータの復元手順

バックアップ取得済みの仮想コンピュータは以下の手順で復元できます。 尚、復元は常に LAN 経由で行われます。

管理コンソールを開き、[復元]をクリックします。



[復元元]-[データの選択…]をクリックし、復元するバックアップイメージを選択します。





ート. ットーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	
復元対象の選択 データビューを参照し、復元する正確なファイル、フォル、 データを含わい、クマッ	ダ、ボリューム、およびディスクを選択します。または、必要なバックアッ ノフを参照します(マーカイブ ビュー)
データパス: D:\Backup\ データピュー アーカイブビュー	クローク (1997) (
表示: コンピュータ/ディスク/ボリューム▼ パッ	ックアップされたデータを以下の条件で表示: カタログの保持期間 ▼
▶ 🔂 192.168.0.52 → 🛃 vCenter2 →	
192.168.0.52	検到
▶ 🔽 🖥 vCenter2	バージョン マ
Image: Second	2011年9月28日 16-55-53
	m

[復元先]-[復元先]で[新しい仮想コンピュータ]を選択します。

+ビゲーション «	100				
	デー	タの復元			
間易リスト 元至リスト	データ	を復元する際のパー	ラメータを指定してください。		
ABR11AMS.dev.com		1=- 4			
	Jus	很元先			
☑ 集中管理		復元先:	物理コンピュータ マ		
4 🔂 個人用			物理コンピュータ		
D:\Backup2\		L	新しい仮想コンピュータ		
D:\Backup\		MBR'ディスク1'の復	102		
🔍 テープ管理		7676	NTシグネチャ: 自動的に選択 ▼		and the second second
😪 ディスクの管理			 ・ ・ ・	内の NT シグネチャと異 ます。それ以外の場合は	なる場合にの は、既存のシグネ
Sa マウントされたイメージ			チャが保持されます。		
		'NTFS (D:)'の復元先	<u>23</u>		
		(27年) 天天的(27)	N/#		
ショートカット		(C:)'の復元先	442		
- ローカルコンピュータ [ABR11AMS.	0	復元の実行時期			
		復元:	今すぐ -		
		タスク			
	-	タスク名:	MyRecover_1		
		復元オプション…	デフォルト		
		◎ タスクのログイン	青報の表示		
				OK	キャンセル
					11200



▼Acronis Backup & Recovery 11 - ajadmin@DEV としてこのコンピュータに接続(ローカル接続) _ 🗆 × ② 伝表▼ ※ アクション▼ ※ ツール▼ ■ ナビゲーション▼ ◎ オプション▼ ◎ ヘルブ▼ 9 Acronis @ ナビゲーション データの復元 簡易リスト 完全リスト 4 🖳 ABR11AMS.det SVM/VS の選択 × □ パックアップ 新しい仮想コンピュータを作成する仮想サーパー(VS)を選択します。または、指定した フォルダ内にファイルのセットとして保存される仮想コンピュータ(VM)の種類を選択しま 🖌 🔂 格納域 🎽 集中管理 す。 ▲ 💽 個人用 新しい仮想コンピュータの配置失 D:\Ba ◎ 選択した仮想サーバー上に配置する D:\Ba
 ・ 選択した種類の VM のファイルとして
 、指定したフォルダに保存する 🔜 テープ管理 😪 ディスクの ▲ ◎ ホストおよびクラスタ 192.168.0.53 マウントされ 192.168.0.52 F 75-1 192.168.0.53 ベンダ: VMware, Inc. 種類: VMware ESXi ログ ショートカット 🥃 ローカル コンピュ 異なる場合にの は、既存のシグネ NTFS、ドライブ のへいプ OK キャンセル 4: NTFS, FST 消去 ディスク1/システムで予約済み(C:) OK キャンセル 現在のアクティビティ

[復元先]-[VMの種類]をクリックし、復元先となるホストを選択します。

[復元先]-[仮想コンピュータの設定]をクリックし、復元先となる仮想コンピュータを作成します。





設定を確認し、問題がなければ[OK]をクリックし、復元タスクを開始します。



復元タスクが完了したら、[閉じる]をクリックし、作業を終了します。



以上

22

http://www.acronis.co.jp

Copyright © 2000-2011 Acronis, Inc. All rights reserved. Acronis, Acronis. Backup & Recovery、および Acronis ロゴは、Acronis, Inc.の登録商標です。記載されているその他の名称は、各所有者の商標または登録商標である可能性があり、 そのような可能性を考慮して扱う必要があります。技術的な変更および図との差異が生じる可能性があり、誤りが含まれている可能性があります。